

2021年11月号 ぴらたんニュース



京都にちなんだ
話題をお届けします
京 style



～ 京都由来の言葉～

普段使っている言葉や言い回しの由来を調べると、京都にゆかりのあるものが見つかります。例えば

「^{らち}埒があかない」 上賀茂神社では、宮中行事であった競馬が古くから行われていました。埒とは、馬場の周囲の柵のことで、競馬の終了時に埒が外されることを「^{らち}埒があく」と言いました。かつては物事が決着したことを表す言葉でしたが、現代では否定の意味で使われることが多くなり、決着がつかないことを表すようになりました。

「くわばら、くわばら」 災難や雷を避けるために唱えるおまじない。平安時代の貴族・菅原道真は死後、雷神となり、京の町に沢山の雷を落とすと言われているが、自身の邸宅があった桑原町だけには雷を落とさなかったとされ、それにあやかった言葉だという説があります。

「露払い」 相撲で土俵入りの際に横綱を先導する力士のことを露払いと言います。宮中行事の蹴鞠の際、最初に鞠を蹴って周囲の木々の露を落とす人のことを露払いと言い、それが転じて相撲の先導役や行列の先頭に立つ人のことを指すようになりました。

このように、都であった京都の祭りや史実、地名、伝説から生まれた言葉が、長い年月をかけて多くの人々に広まったそうです。



学校の象徴に欠かせない **学校旗**

消防団の士気に欠かせない **消防団旗**

勝利の証に欠かせない **優勝旗**

【取扱商品】

応援団用品 のぼり 染め旗 横断幕 のれん 手拭い ハッピー太鼓 祭礼幕 ちょうちん 神社仏閣幕 神社のぼり 社名旗 鈴緒 劇団幕 マーチングバンド横幕 タスキ 腕章
ピンバッジ 缶バッジ ワッペン 演台カバー



株式会社 平岩

〒604-0907 京都市中京区河原町通竹屋町上ル大文字町 241

TEL : 075-222-1041 / FAX : 075-222-0843

MAIL : web@kyoto-hiraiwa.co.jp

※ 配信停止をご希望の方はお手数ですが「配信停止」と記入いただき、ご返信ください

今すぐ
アクセス！

京都 平岩